

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2022年8月8日

【四半期会計期間】 第68期第1四半期(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

【会社名】 株式会社トーカイ

【英訳名】 TOKAI Corp.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小野木 孝二

【本店の所在の場所】 岐阜県岐阜市若宮町九丁目16番地

【電話番号】 (058)263-5111

【事務連絡者氏名】 執行役員経理・システム本部長 藤井 哲行

【最寄りの連絡場所】 岐阜県岐阜市若宮町九丁目16番地

【電話番号】 (058)263-5111

【事務連絡者氏名】 執行役員経理・システム本部長 藤井 哲行

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第67期 第1四半期 連結累計期間 | 第68期 第1四半期 連結累計期間 | 第67期 |
|--------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 2021年4月1日 至 2021年6月30日 | 自 2022年4月1日 至 2022年6月30日 | 自 2021年4月1日 至 2022年3月31日 |
| 売上高 (百万円) | 29,694 | 31,547 | 123,484 |
| 経常利益 (百万円) | 1,670 | 1,760 | 8,878 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円) | 1,114 | 1,189 | 5,806 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円) | 1,064 | 1,202 | 5,630 |
| 純資産額 (百万円) | 74,113 | 77,821 | 77,519 |
| 総資産額 (百万円) | 101,094 | 106,907 | 105,900 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | 31.41 | 33.79 | 164.42 |
| 自己資本比率 (%) | 72.8 | 72.3 | 72.7 |

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、前連結会計年度において非連結子会社でありましたゆうえる株式会社は、重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染者数減少に伴い経済活動の回復に向けた動きが見られたものの、6月下旬以降は再び感染拡大の様相を呈していることに加え、地政学リスクに起因する資源高や円安の加速による物価上昇等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループにおきましては、ウィズコロナ下での営業活動の推進に加え、生産部門においてもリネン類の洗濯に使用するガス・重油等の燃料及び電力などエネルギーの原単位改善を中心とする生産性向上に努めることで、売上および利益の確保に努めております。

一方、サステナビリティに関しまして、創業以来、「レンタル」のビジネスモデルを通じて廃棄物の削減や循環型社会の実現に努める当社は、ESG各分野における取り組みをさらに推進していくため、2022年5月にサステナビリティ基本方針を制定するとともに、サステナビリティ委員会を新設いたしました。今後は当委員会において、当社グループの果たすべき役割やマテリアリティ等について議論を深めてまいります。

また、コーポレートガバナンスに関しましては、2022年6月に、社外取締役の増員により取締役会の3分の1以上の社外取締役を選任、加えて、取締役会の諮問機関として過半数の委員を社外取締役から選出する指名・報酬委員会を設置いたしました。こうしたガバナンス体制の整備を通じて、取締役会の機能の独立性・客観性を高め、ステークホルダーの皆様への説明責任を果たしてまいります。

なお、企業の持続的な成長に不可欠なDXに関する取り組みについては、当社グループ全体のデジタル戦略推進、全社DXの基盤をつくることを目的として、同じく5月に「トーカイグループDX中期戦略」を発表いたしました。6月からはDX人材の社内育成プログラムを開始し、DXを通じた各事業の課題解決や付加価値向上、新規事業の創出に積極的に挑戦する組織風土の醸成、各種施策を実現させるための全社的な基盤の構築に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、売上高31,547百万円（前年同四半期比1,853百万円増、6.2%増）、営業利益1,633百万円（前年同四半期比77百万円増、5.0%増）、経常利益1,760百万円（前年同四半期比90百万円増、5.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,189百万円（前年同四半期比75百万円増、6.8%増）と前年同四半期比増収増益となりました。なお、売上高につきましては、新型コロナウイルス感染拡大前の2020年3月期同四半期を上回り、過去最高を更新いたしました。

〔セグメント別状況〕

・ 健康生活サービス

シルバー事業の介護用品レンタルや、病院関連事業の戦略商品である「入院セット」の売上が好調に推移したことに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける寝具・リネンサプライ事業につきましても、緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置が適用されていた前年同四半期に比べ大きく回復し、前年同四半期比増収となりました。利益面につきましては、資源高、円安の加速によるエネルギーコストの増加、事業拡大のための人件費の増加、レンタル資材費の増加はあるものの、売上増加に伴う利益増の他、エネルギー原単位改善等生産性向上に努めたことにより前年同期比増益となりました。

| | | | | |
|------|-----------|----------|----------|---------|
| 売上高 | 16,203百万円 | （前年同四半期比 | 860百万円増、 | 5.6%増） |
| 営業利益 | 1,355百万円 | （前年同四半期比 | 185百万円増、 | 15.9%増） |

・ 調剤サービス

当期2店舗の出店により、147店舗の事業展開となりました。

前期に出店した11店舗を含む新店効果により、処方箋枚数が増加したことから前年同四半期比増収となりました。利益面につきましては、売上増加に伴う利益増の一方、薬剤の購入時期のずれに伴い一時的に費用が増加していることなどにより前年同四半期を僅かに下回りました。

| | | | |
|------|-----------|-------------------|--------|
| 売上高 | 11,856百万円 | (前年同四半期比 818百万円増、 | 7.4%増) |
| 営業利益 | 604百万円 | (前年同四半期比 8百万円減、 | 1.4%減) |

・ 環境サービス

リースキン事業において、トイレ周り商材に重点を置いた営業活動の推進、一部需要の回復による加盟店の資材購入意欲の高まりにより売上が増加したことに加え、病院清掃事業が順調に推移したことから、前年同四半期比増収となりました。利益面につきましては、売上増加に伴う利益増はあるものの、ビル清掃管理事業の新規事業所立ち上げに係る費用や、当セグメントに属するグループ会社保有の不動産売却に向けた一時的な費用の増加等により、前年同四半期比減益となりました。

| | | | |
|------|----------|-------------------|--------|
| 売上高 | 3,438百万円 | (前年同四半期比 168百万円増、 | 5.1%増) |
| 営業利益 | 302百万円 | (前年同四半期比 15百万円減、 | 4.8%減) |

(2) 財政状態の分析

資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末の105,900百万円から1,007百万円増加し、106,907百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が330百万円、繰延税金資産が241百万円、投資有価証券が169百万円減少したものの、有価証券が306百万円、棚卸資産が956百万円、未収法人税等(流動資産「その他」)が626百万円増加したことが主な要因となっております。

負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末の28,381百万円から704百万円増加し、29,085百万円となりました。これは、未払法人税等が1,637百万円、賞与引当金が1,124百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が1,722百万円、繰延税金負債が214百万円、未払金(流動負債「その他」)が349百万円、預り金(流動負債「その他」)が1,175百万円増加したことが主な要因となっております。

純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末の77,519百万円から302百万円増加し、77,821百万円となりました。これは、配当金の支払いによる減少が809百万円あったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益1,189百万円を計上したことが主な要因となっております。

この結果、自己資本比率は72.3%(前連結会計年度末比0.4%減)となりました。

(3) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 114,000,000 |
| 計 | 114,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2022年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (2022年8月8日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|----------------------------------------|----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 36,041,346 | 36,041,346 | 東京証券取引所 プライム市場 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 36,041,346 | 36,041,346 | - | - |

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金 増減額 (百万円) | 資本準備金 残高 (百万円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 2022年4月1日～ 2022年6月30日 | - | 36,041,346 | - | 8,108 | - | 3,168 |

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2022年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2022年6月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 835,800 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 35,188,200 | 351,882 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 17,346 | - | - |
| 発行済株式総数 | 36,041,346 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 351,882 | - |

【自己株式等】

2022年6月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式 数の合計 (株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%) |
|--------------------|------------------|----------------------|----------------------|---------------------|--------------------------------|
| (自己保有株式) 株)トーカイ | 岐阜県岐阜市若宮町九丁目16番地 | 835,800 | - | 835,800 | 2.31 |
| 計 | - | 835,800 | - | 835,800 | 2.31 |

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2022年4月1日から2022年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 35,794 | 35,766 |
| 受取手形及び売掛金 | 18,137 | 17,807 |
| 有価証券 | 361 | 668 |
| 棚卸資産 | 4,635 | 5,592 |
| その他 | 857 | 1,591 |
| 貸倒引当金 | 39 | 41 |
| 流動資産合計 | 59,748 | 61,384 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 10,585 | 10,587 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 4,385 | 4,334 |
| 土地 | 11,436 | 11,433 |
| その他（純額） | 4,332 | 4,200 |
| 有形固定資産合計 | 30,739 | 30,556 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 97 | 103 |
| その他 | 1,480 | 1,503 |
| 無形固定資産合計 | 1,577 | 1,606 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,325 | 7,156 |
| 繰延税金資産 | 1,381 | 1,140 |
| その他 | 5,365 | 5,295 |
| 貸倒引当金 | 238 | 233 |
| 投資その他の資産合計 | 13,834 | 13,358 |
| 固定資産合計 | 46,151 | 45,522 |
| 資産合計 | 105,900 | 106,907 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 12,305 | 14,027 |
| 短期借入金 | 1,627 | 1,775 |
| 未払法人税等 | 1,765 | 127 |
| 賞与引当金 | 2,140 | 1,015 |
| 役員賞与引当金 | 77 | 16 |
| その他 | 5,278 | 6,877 |
| 流動負債合計 | 23,194 | 23,841 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 660 | 559 |
| 繰延税金負債 | 161 | 376 |
| 役員退職慰労引当金 | 496 | 426 |
| 退職給付に係る負債 | 2,097 | 2,110 |
| その他 | 1,770 | 1,771 |
| 固定負債合計 | 5,186 | 5,244 |
| 負債合計 | 28,381 | 29,085 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,108 | 8,108 |
| 資本剰余金 | 4,949 | 4,949 |
| 利益剰余金 | 64,246 | 64,537 |
| 自己株式 | 1,951 | 1,951 |
| 株主資本合計 | 75,352 | 75,643 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,677 | 1,677 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 28 | 25 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,649 | 1,651 |
| 非支配株主持分 | 516 | 525 |
| 純資産合計 | 77,519 | 77,821 |
| 負債純資産合計 | 105,900 | 106,907 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日) |
|------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 29,694 | 31,547 |
| 売上原価 | 22,447 | 23,964 |
| 売上総利益 | 7,246 | 7,582 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,690 | 5,949 |
| 営業利益 | 1,555 | 1,633 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 8 |
| 受取配当金 | 50 | 57 |
| その他 | 94 | 89 |
| 営業外収益合計 | 149 | 154 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8 | 7 |
| 損害賠償金 | 1 | 13 |
| その他 | 26 | 7 |
| 営業外費用合計 | 35 | 28 |
| 経常利益 | 1,670 | 1,760 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | - |
| 特別利益合計 | 0 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2 | 30 |
| 災害による損失 | 4 | 6 |
| 店舗閉鎖損失引当金繰入額 | 1 | - |
| 特別損失合計 | 9 | 37 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,661 | 1,723 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 136 | 64 |
| 法人税等調整額 | 405 | 458 |
| 法人税等合計 | 542 | 523 |
| 四半期純利益 | 1,118 | 1,199 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 4 | 10 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,114 | 1,189 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) |
|-----------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 四半期純利益 | 1,118 | 1,199 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 56 | 0 |
| 退職給付に係る調整額 | 2 | 2 |
| その他の包括利益合計 | 53 | 2 |
| 四半期包括利益 | 1,064 | 1,202 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,060 | 1,192 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 4 | 10 |

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間より、ゆうえる株式会社は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更等)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

当社及び一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) |
|---------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 減価償却費 | 933百万円 | 1,041百万円 |
| のれんの償却額 | 22百万円 | 19百万円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2021年6月25日 定時株主総会 | 普通株式 | 533 | 15.00 | 2021年3月31日 | 2021年6月28日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2022年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 809 | 23.00 | 2022年3月31日 | 2022年6月30日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|--------------|------------|------------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 健康生活 サービス | 調剤 サービス | 環境 サービス | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 15,343 | 11,037 | 3,270 | 29,651 | 42 | 29,694 | - | 29,694 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 9 | - | 93 | 103 | 0 | 104 | 104 | - |
| 計 | 15,352 | 11,037 | 3,364 | 29,754 | 43 | 29,798 | 104 | 29,694 |
| セグメント利益又は損 失() | 1,169 | 612 | 317 | 2,100 | 3 | 2,096 | 540 | 1,555 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報提供事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失()の調整額 540百万円には、セグメント間取引消去1百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 541百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|--------------|------------|------------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 健康生活 サービス | 調剤 サービス | 環境 サービス | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 16,203 | 11,856 | 3,438 | 31,498 | 49 | 31,547 | - | 31,547 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 9 | 0 | 99 | 109 | 0 | 110 | 110 | - |
| 計 | 16,213 | 11,856 | 3,537 | 31,607 | 50 | 31,657 | 110 | 31,547 |
| セグメント利益又は損 失() | 1,355 | 604 | 302 | 2,262 | 0 | 2,262 | 628 | 1,633 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報提供事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失()の調整額 628百万円には、セグメント間取引消去 1百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 627百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 |
|-----------------|--------------|------------|------------|--------|-------------|--------|
| | 健康生活 サービス | 調剤 サービス | 環境 サービス | 計 | | |
| 財又はサービスの種類 | | | | | | |
| レンタル・ランドリー売上 | 10,078 | - | 1,316 | 11,395 | - | 11,395 |
| 商品売上 | 2,724 | 11,036 | 599 | 14,361 | - | 14,361 |
| その他(注)2 | 2,539 | 0 | 1,354 | 3,894 | 42 | 3,937 |
| 外部顧客への売上高 | 15,343 | 11,037 | 3,270 | 29,651 | 42 | 29,694 |
| 財又はサービスの移転の時期 | | | | | | |
| 一時点で移転される財 | 14,124 | 11,037 | 1,977 | 27,140 | 42 | 27,182 |
| 一定の期間にわたり移転される財 | 1,218 | - | 1,292 | 2,511 | - | 2,511 |
| 外部顧客への売上高 | 15,343 | 11,037 | 3,270 | 29,651 | 42 | 29,694 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報提供事業を含んでおります。
2 財又はサービスの種類に記載している「その他」の区分は、病院関連事業(健康生活サービス)における医療周辺業務、給食事業(健康生活サービス)における給食等の提供、清掃事業(環境サービス)における清掃業務の提供等であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 |
|-----------------|--------------|------------|------------|--------|-------------|--------|
| | 健康生活 サービス | 調剤 サービス | 環境 サービス | 計 | | |
| 財又はサービスの種類 | | | | | | |
| レンタル・ランドリー売上 | 10,994 | - | 1,359 | 12,353 | - | 12,353 |
| 商品売上 | 2,660 | 11,855 | 734 | 15,250 | - | 15,250 |
| その他(注)2 | 2,548 | 0 | 1,345 | 3,894 | 49 | 3,943 |
| 外部顧客への売上高 | 16,203 | 11,856 | 3,438 | 31,498 | 49 | 31,547 |
| 財又はサービスの移転の時期 | | | | | | |
| 一時点で移転される財 | 14,440 | 11,856 | 2,129 | 28,426 | 49 | 28,475 |
| 一定の期間にわたり移転される財 | 1,763 | - | 1,308 | 3,072 | - | 3,072 |
| 外部顧客への売上高 | 16,203 | 11,856 | 3,438 | 31,498 | 49 | 31,547 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報提供事業を含んでおります。
2 財又はサービスの種類に記載している「その他」の区分は、病院関連事業(健康生活サービス)における医療周辺業務、給食事業(健康生活サービス)における給食等の提供、清掃事業(環境サービス)における清掃業務の提供等であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) |
|----------------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 1株当たり四半期純利益 | 31円41銭 | 33円79銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円) | 1,114 | 1,189 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円) | 1,114 | 1,189 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 35,473 | 35,205 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2022年8月5日

株式会社トーカイ
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

名古屋事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西 松 真 人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊 藤 達 治

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社トーカイの2022年4月1日から2023年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2022年4月1日から2022年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社トーカイ及び連結子会社の2022年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の四半期レビュー報告書の原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。